41 01 02 01 09 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月20日（水）

事務事業	深谷駅行政施設管理運営事業	担当課	都市計画課	担当係	市街地活性化係	管理番号	4101
第2次総合計画 行政分野別		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
第2次総合計画 行政分野別 大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等	深谷駅市民サービスセンター条例及び施行規則				
第2次総合計画 行政分野別 中項目	200001 都市整備の行き届いたまちづくり						
第2次総合計画 行政分野別 小項目	200001 良好な市街地・住環境形成の推進						

事業概要	本事業は、ＪＲ深谷駅（ＪＲ管理部分は除く）の安全性を含めた駅施設の適切な管理を行うとともに、市民サービスセンターを設置し、施設管理及び市民等を対象に駅のギャラリーの貸し出しを行うものである。
目的 ※何のために	市民の利便性及び文化の向上を図る。
対象 ※誰・何を対象に	ギャラリー利用者及び駅利用者。
手段 ※どのように	駅の修繕や補修点検業務等を行う。また、駅に市民サービスセンターを設置し、施設運営業務等を行う。
成果 ※何を求めるか	安全かつ良好な施設を提供する。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	地域文化振興費	深谷駅市民サービスセンター管理運営事業	2,605,652
一般会計	08	土木費	04	都市計画費	01	都市計画総務費	深谷駅施設管理運営事業	18,068,120
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 深谷駅市民サービスセンター管理運営	・
・ 深谷駅行政施設管理	・
・	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			・エスカレーター修繕 ・深谷駅大規模改修工事設計業務 ・管理業務委託（清掃、点検）	・エスカレーター修繕 ・深谷駅大規模改修工事 ・管理業務委託（清掃、点検）	・エスカレーター修繕 ・深谷駅大規模改修工事（委託） ・管理業務委託（清掃、点検）	・エスカレーター修繕 ・深谷駅大規模改修工事 ・管理業務委託（清掃、点検）	・エスカレーター修繕 ・管理業務委託（清掃、点検）	
事業費	予算（現額）		45,488,000	147,949,000	136,394,000	101,256,000	28,680,000	
	決算額		40,613,876	122,006,192	20,673,772	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	108,600,000	74,100,000	0	
		他特定財源	1,110,300	1,170,810	1,186,000	1,210,000	1,043,000	
		一般財源	39,503,576	120,835,382	0	25,946,000	27,637,000	
人件費	従事職員数（人）		1.00	1.04	1.04	1.05	1.05	
	人件費相当試算 ※1		7,779,000	8,093,280	8,175,440	8,555,400	8,555,400	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			48,392,876	130,099,472	117,961,440	109,811,400	37,235,400	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値／実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	市民サービスセンターの開放日	目標値	日	359.00	305.00	360.00	359.00	359.00	359.00	□
			実績値		359.00	305.00	360.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		市民サービスセンターの休館日は、１２月２９日～１月３日の６日間による。							
		実績による									
□	活動指標２	施設の修繕件数	目標値	件							■
			実績値		6.00	10.00	12.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		毎年、修繕件数が増減するために、目標値を設定できない。							
		実績による									
■	成果指標１	ギャラリーの利用者数	目標値	人	10,770.00	8,970.00	10,800.00	10,770.00	10,770.00	10,770.00	□
			実績値		10,158.00	10,477.00	9,229.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		利用料の改定に伴い、平成２５年度から目標値を１日３０人×３５９日とする。							
		実績による									
□	成果指標２	施設管理上の事故	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		施設利用者への安全を確保するため、目標値を０とする。							
		実績による									
□	成果指標３	施設管理上の苦情	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		2.00	1.00	2.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		施設利用者へのサービスを向上するため、目標値を０とする。							
		実績による									
■	効率指標１	ギャラリーの稼働率	目標値	%	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	□
			実績値		50.40	57.20	62.80	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		有効活用のため稼働率（利用日数／開放日）５０％を目標とする。							

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 市民サービスセンターの開放については、目標値どおりに達成できた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	C	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 新型コロナウィルス感染拡大防止のため、多くのギャラリー利用者を呼ぶ催事等のキャンセルが発生し、目標値を達成することができなかった。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	A	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 ギャラリーの稼働率については、目標値どおりに達成できた。

評価者	市街地活性化係　大須賀　浩行

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	・ギャラリー利用について、引き続きＰＲ活動を行い、ギャラリー利用率向上に努めていく。 ・苦情件数がゼロになるよう、施設運営管理委託業者や清掃委託業者などと情報を密にし、市と委託業者で連携を図りながら、迅速な対応を行っていく。 ・大規模改修工事について安全対策がなされているか確認していく。
達成状況 及び その効果	ギャラリー利用は昨年度より利用団体が増えたことでギャラリーの稼働率は増加したものの、新型コロナウィル感染拡大防止から催事等のキャンセルにより利用者数が減少したが、 施設管理上の苦情件数が窓口業務と清掃業務において発生してしまった。状況把握するとともに、今後の対応について改善指導を行った。 深谷駅の外壁・屋根防水修繕工事を東日本旅客鉄道株式会社と協定を結び工事を実施し、深谷駅外観の回復を行う。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	深谷駅行政施設管理運営事業	担当課	都市計画課	担当係	市街地活性化係	管理番号	4101

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

社会情勢によりギャラリー利用者が減少してしまったが、今後ギャラリー利用者が安全・安心して利用できるよう環境を整えること。施設利用者の苦情が発生した件については、今後施設利用者の方が気持ちよく利用できるよう、委託業者と連携し業務の改善を図ること。
深谷駅の大規模改修が続くため、細心の注意を払い、事故がないように改修をすること。

評価者	都市計画課　吉田　稔

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

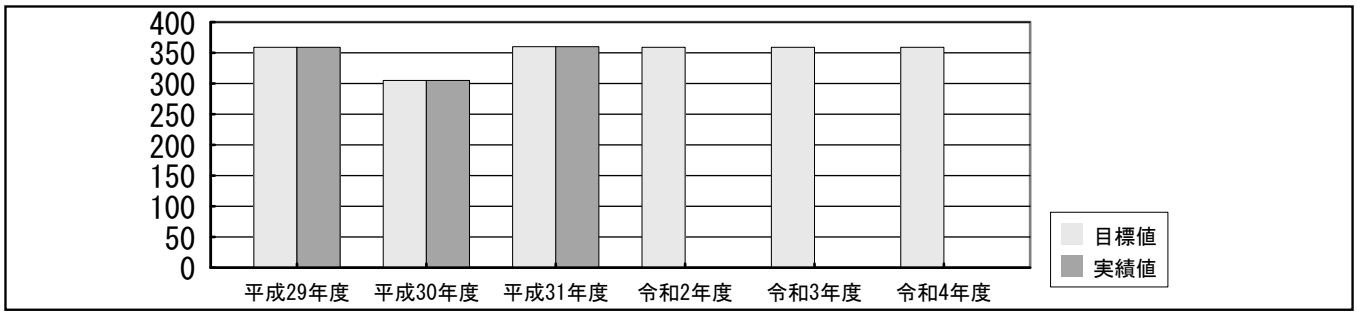
改善・改革案	ギャラリーを安全に利用できるよう設備や環境を確認していく。 苦情をゼロ件にするために、深谷駅に関わる委託業者と連携・連絡を強化していく。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

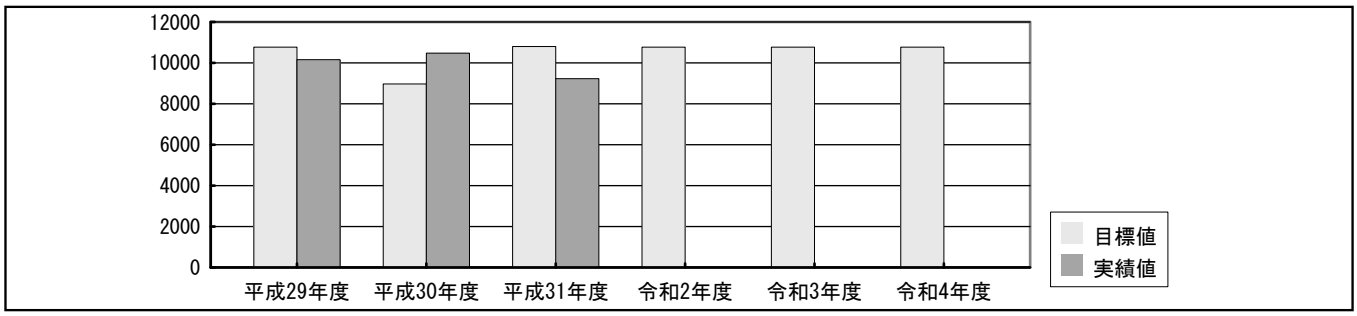
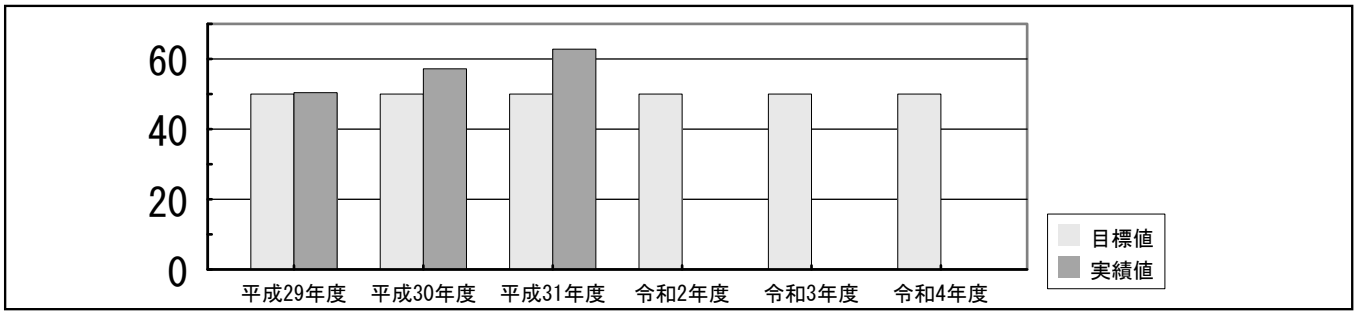
今後の課題	ギャラリーの利活用について、深谷駅という好立地条件を活かせるような機能変更ができないか検討していく。 大規模改修後の修繕について改修計画を作成していく。ただし、駅という特殊な建物であることからＪＲ東日本と協議しながらでないと修繕できない個所もあるため、調整を図る必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	市民サービスセンターの開放日



区分	成果指標１	指標名	ギャラリーの利用者数



区分	効率指標１	指標名	ギャラリーの稼働率